



茅ヶ崎市立浜之郷小学校

校長 安倍 武雄

2023年9月29日

10月号

### 学校教育目標 ～支えあう・聴きあう・学びあう～

子どもたちが自分を再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の6年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。

### 改めて気づかされること

育休に入った教員の後任がなかなか見つからず、当面のあいだ5・6年生の理科を管理職が受け持つことにしました。私だって、初めから管理職をやっていたわけではなく、30年近く担任として授業をしてきた経験があります。そして今、実際に授業をする中で、改めて子どもたちと一緒に授業をつくりあげていく楽しさを感じています。

6年生との「月と太陽」の学習をしながら、いろいろなことを考えます。教科書には「月は太陽の光を反射して輝いている」とあります。問題は、これをどうすれば、子どもたちが実感を伴ってわかるかです。言葉を読めば「うーん、まあ…」と、「納得」せずに「わかった気」になります。しかし、「それだけじゃあなあ…」と、また考えます。

結局考えたあげく、「証拠をみつけてください」と問いかけることにしました。実際の授業では、子どもたちは「えーっ、そんなこと言たって…」「あるわけないじゃん！」とあきらめそうになります。そこで、これらの写真を子どもたちに見せました。すると…。「クレーターの影があるってことは、自分で光っていない!」「宇宙飛行士が自分で立って歩いているということは、熱くないんだ!」…などの発見が生まれ、それをクラスの中で共有することで、「ああ、やっぱり「月は太陽の光を反射して輝いている」んだなあ」と理解していったようでした。教科書の言葉を丸暗記するのではなく、「感じる」とか「腑に落ちる」という感覚が大切なのだなあと改めて気づかされました。「わかる」とは、言葉の意味を理解することではないのですね。



少しだけ雨がぱらつきましたが、大きな混乱もなく無事に帰ってくる事ができてなによりでした。

子どもたちにも、たくさんの思い出が残ったことと思います。そして、何よりもこうして修学旅行に大きな憂いもなく出かけられることそのものが幸せです。修学旅行実現のために尽くして下さったたくさんのおみなさんに感謝です。

9月12、13日で日光修学旅行に行ってきました。前日までの大雨で水量が回復したという華厳の滝、日本の近代化を支えたと同時に初めての公害といわれる足尾銅山、きらびやかな陽明門、落ち着いた雰囲気の大猷院、そして、ちょっと古いけれどおかみさんの素敵な人柄に癒された梅屋敷旅館…。初日の夕方

